

議会だより



第5回ヤングフェスティバル



一般質問	2
議決の結果	11
補正予算可決	12
決議	12

鋭い視点で

一般質問

本定例会での一般質問は、12月15日に11名が登壇しました。

久米島多目的公園整備事業計画は？

財政厳しく、整備計画は難しい



上里 総功 議員

上里議員 久米島多目的公園整備事業について、これまでの答弁では「陸上競技場を予定していたが、国の三位一体改革により当面休止し、財政状況を見ながら検討していきたい」と述べているが、今後の計画はどうなっているか。

平良町長 財政はますます厳しい状況にあり、財政状況が好転しない限り整備計画はできないものと考えている。

上里議員 現在、嘉手刈と儀間側でグラウンドゴルフ場として使用しているが、事業が導入できるまで行政が資材を提供し、協働でグラウンドゴルフ場を整備する計画はないか。



久米島多目的公園整備予定地

平良町長 事業が出来なくて迷惑をかけている。当面、

山城企画財政課長 整備できるまで、地域の皆さんと相談しながらやっていきたい。
住民のニーズがあれば建設業者とも相談し、機械等が手配できるよう努力したい。

上野原線整備計画の進捗状況は？

費用対効果の面で厳しい状況

上里議員 通称上野原線の整備計画について、平成一五年一二月定例議会で質問したが、答弁では、一九九年度に採択申請をし、国の補助事業で整備していくということであった。現在の進捗状況はどうなっているか。

平良町長 儀間上野原線は平成一六年に町単独予算で農道整備が可能か調査をしている。道路用地のほとんどが個人有地のため用地買収が生じ、地主の協力が必要である。

また、近年、事業採択には費用対効果や地主の九〇%以上の同意率が要求されている。財政的なこともあり、現在、県と調整中であるが、非常に厳しい状況である。

上里議員 採択基準が緩和されているのに、それでも出来ない理由は何なのか。

神里建設課長 出来ない理由については、費用対効果が出ないということである。



儀間上野原線

一般質問通告一覧表

上里総功議員

- 一、久米島多目的公園整備事業について
- 二、農道整備について

幸地良雄議員

- 一、飲酒運転抑止対策について

崎村稔議員

- 一、観光振興について
- 二、農業振興について

上江洲盛元議員

- 一、道路行政について
- 二、観光振興について
- 三、久米島まつりに児童・生徒の演技を

本永朝辰議員

- 一、バーデハウス久米島について

内間久栄議員

- 一、役場職員の人事異動について
- 二、南部土地改良区の畑のかん水事業について

宮田勇議員

- 一、選挙投票所の廃止について
- 二、中心市街地活性化基本計画について
- 三、久米島空港真泊線（中央・新興通り）の拡幅整備計画について

真栄平勝政議員

- 一、水路の浚渫について

仲村昌慧議員

- 一、危険箇所への歩道について

仲原健議員

- 一、町職員数の適正化について

平田勉議員

- 一、かんがい排水の維持管理について
- 二、イントラの利活用について

弱者にやさしい行政サービスを！

用地確保困難なため、現在の構造となった



崎村 稔 議員

崎村議員 比屋定バンタの展望台は、最近建て替えてたいへんきれいになった。ところが、二階への車椅子用通路がない。案の定、車椅子の観光客から「障害者への差別だ」と苦情が出始めている。弱者にやさしい行政サービスをするためにも、車椅子用スロープを造るべきだと思うが、町長の所見を伺いたい。

平良町長 当初、設計において、二階部分のスロープも検討したが、構造上の規



比屋定バンタの展望台

定で、勾配の一二分の一を確保するためには全長が七五m必要になることや、七・五mごとに踊り場を設けることなど、さらに延長が増えることになる。

用地確保の面や、駐車場から乗り入れができなくなるということから、現在の構造となっている。

農道整備で農家に夢と希望を！

補助事業厳しい。廃材等の再利用を検討



山玉城（カテカル）原線

崎村議員 通称「山玉城線」の農道整備は、従来から再三要請してきたが、「予算がない、合うメニューがない、利用農家が少ない」などの理由で却下されてきた。第一次産業に力を入れていきたいと言った町長だが、農家は一日も早い舗装を待ち望んでいる。一挙に全線舗装とは言わないが、毎年少しずつ整備していったら、町長の熱意を示して欲しい。

平良町長 以前答弁したように、費用対効果など補助事業での採択は厳しいというところを理解していただきたい。また、現在の財政事情では、単独での整備も厳しいため、あまり費用のかからない方法、例えばアスファルト廃材等の再利用も検討したいと思っている。

バーデハウスの経営改善方法は？

島内向けにナイト割引料金等を設定



本永朝辰議員

本永議員 町長はオーランド社長として、苦しい経営状況を打破し、再建を目指して新役員と共に経営改善に取り組んでいると思う。そこで、次の点について伺いたい。

①誘客活動に取り組んでいると思うが、どのような方法で取り組んでいるか。

②開館時間について、条例では午前九時から午後一時までとなっているが、現在は午前一時から午後九時までとなっている。これについて伺いたい。

平良町長 ①本土及び県内の旅行代理店へのセールスの実施、久米島空港におい



バーデハウス久米島

てはパンフレットの配布、ホテル内のロビーにはバーデハウスの案内書を設置して誘客に努めている。また、島民向けにはナイト割引料金を設定して取り組んでいる。②条例上は午前九時から午後一時までとなっている。しかしながら経営悪化に伴い営業効率の面から人件費、電気代等々のコスト削減の一環で現状形態になっていることを理解していただきたい。

る。

廃止された選挙投票所の復活を！

公平性と事務の効率化が目的



宮田 勇 議員

サービスの低下でもある。次回の選挙から以前に戻すよう地域から強い声があるが、当局の見解を伺いたい。

宮田議員 国は国民の政治不信や選挙離れ、無関心層が増えるのを勘案し、投票時間を延長し投票率アップを指導しているが、本町においては今回の知事選から美崎地区と大岳地区の投票所を廃止した。そのことで地域住民はこれまでにない経済的、時間的負担を強いられ、大きな憤りを感じている。これは投票率や住民

仲村渠町民課長兼行政改革推進室長 町全体のバランスと公平性を図ること及び投票事務の効率化を目的に行われたもので、今後とも町民に対する説明を行い理解を求めていく。

空港真泊線、中央・新興通りの 拡幅整備計画は？

二案での検討を地元へお願いしている

宮田議員 沖縄県南部土木

事務所では昭和一六年度に久米島空港真泊線、中央通り、新興通りの拡幅整備計画について調査を行い、去つ

た八月三〇日にその結果に関する説明会が地域住民や関係団体に対して行われた。

そして南部土木事務所では事業化の可能性について費用対便益分析を行った結果、道路拡張整備は事業化できないとの回答であった。

具体的には、道路整備で停車帯を設けることにより混雑解消され、走行の時間短縮や経費減少による便益が一八億二千万円発生する。それに対する工事費用は用地費や物件、営業補償等が九一%を占め、四一億円となる。費用に対する便益費が一・五倍の六二億円必要

など、今回の調査では

三分の一の〇・四七倍しか得られないとの理由で、不採択になるとの説明であった。

その結果を踏まえ、当局の見解を伺いたい。

平良町長 県では、現在の

道路を利用し、一方通行にして歩道を設け、歩行者の交通安全を図る方法と、比較的空き屋敷のある南側を

拡幅し、片側歩道にする二案が提示されており、この二案での検討を地元へお願いしている。



中央・新興通り

危険箇所の歩道整備を！

次年度以降整備との回答



仲村昌慧議員

仲村議員 仲泊から兼城に向かうバイパス道路は交通事故が多発しており、危険箇所としてガードレール設置の要望書を提出しているが、それに対してどう対応してきたか伺いたい。

次に、久米アイランドホテル前からイーフビーチホテル前の区間は、歩道の幅員が狭く、街路樹としてフクギが植えられているため、歩行者が車道を通るケースが多く、たいへん危険である。この区間の歩道の安全対策について町長の考えを伺いたい。

平良町長 危険箇所のガードパイプの設置については、県へ要請しているが、県の整備計画では、限られた予算の中で、腐食等、危険箇所として緊急を要するところから整備している状況である。指摘の場所は次年度以降整備したいとの回答を得ている。

次に、久米アイランドからイーフビーチの間の道路については、現在、県が整備している島尻銭田の工事が平成一九年度に完了する予定である。その後引き続き整備していただくよう要請している。



仲泊～兼城（バイパス道路）

ダム・かんがい排水設備の維持管理は？

具体的数字を出して整理したい



平田 勉 議員

が負担すべきものを具体的な数字を出して整理していきたい。

平田議員 カンジダム水系のダム及びかんがい排水設備の維持管理について、未だ具体的な方法が確立されていない。

今後の維持管理方法について、具体的な説明を求めらる。

平良農林水産課長 農家の皆さんに、適正な水の使用料等、できるだけ負担がからず、また、運営のできるような数字を出していきたい。

具体的な数字を出しての検討、話し合いがまだされていないので、三月までには数字を出して進めていきたい。

平良町長 県から示された施設管理について、県と町との管理委託の確認を行い、町が管理すべき施設、土地改良区への委託管理が必要な施設について整理していく必要がある。その後、町が負担すべきもの、受益者



光ケーブルの有効利用を！

インターネット等の普及状況を踏まえ対応

平田議員 久米島一円に、町の光ケーブルが設置されている。住民はその設備を具体的に活用することができない。

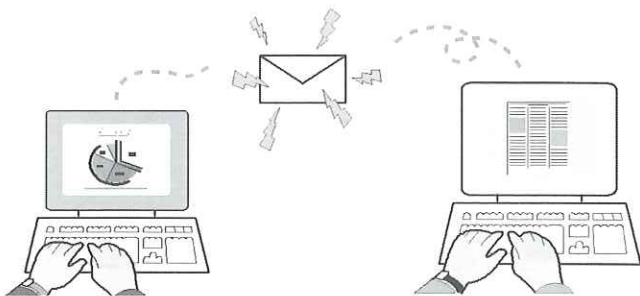
山城企画財政課長 町が開設しているスカイボードでも可能なので、その充実を検討していきたい。

また、現在実施している各種講習会を活用しながら、地域住民にも普及が図れるようなかたちのものはやっていきたい。

平良町長 久米島町情報化基本計画では、地域情報ネットワークの実現、離島型電子自治体の実現、地域健康管理システムの実現、総合防災、保安システム、産業振興プラットフォームなどが計画に上がっている。

今後、町の財政状況や地域におけるインターネットなどの普及状況等を踏まえて対応していきたい。

平田議員 町民電子会議室での情報提供と、情報に対する住民の生の声が届くシステムはできないのか。



飲酒運転の抑止対策について

関係機関、団体と連携して取り組んでく



幸地良雄 議員

全国平均の三倍に達するなど極めて憂慮すべき状況である。

「飲酒運転は犯罪である」との認識の希薄さや飲酒運転に対する社会的モラルの低さである。このような重大事故に直結する飲酒運転を撲滅し、町民を交通事故から守ることは、町民一人ひとりの責務だと思う。また町としては安全で安心して暮らせる地域社会を確立するため関係機関、団体と連携して飲酒運転撲滅に取り組んでいく。

県や教育委員会、市町村で懲戒免職を含めた職員の罰則規定を強化。飲酒運転防止大会も相次いで開かれた。久米島町としては飲酒運転抑止策としてどう考えているか。

平良町長 沖縄県における飲酒運転による死亡事故は、全死亡事故の三割を占め、



道路行政について四点

計画中のもの、すぐ発注できる工事、
沖縄県に要請中のものである



上江洲盛元 議員

②平成一八年度で整備予定。現在、県との調整に時間を要し、工事の発注が遅れているが、近々発注したい。
④沖縄県南部土木事務所との調整手違いで現状になっている。南部土木事務所と年度内事業で対応できるように調整中である。

上江洲議員 道路行政について、①宇根七号線（謝名堂カラヤンから真謝仲原家へ出る途中）凹凸がひどいが、舗装計画はないか。

②島尻一三号線（トクジムからウツタ橋へ通じる未整備部分）今後の計画は。

③謝名堂一号线（イーフレ線）特に観光客との関係についての歩道整備、県との交渉はどうなっているか。
④仲里中学校前の歩道のど真ん中に電話柱が二本、極めて危険である。早急に撤去すべきである。

平良町長 ①現在、県が行っている水質保全事業で道路の舗装も計画している。



宇根7号線

久米島まつりに 児童生徒の演技を

関係者と調整して検討

上江洲議員 久米島まつりに児童生徒の演技を生かしていただきたい。毎年各学校の運動会ですばらしい文化的な演技を発表している。私の見た範囲、仲中、仲小の運動会では、沖縄の大衆文化の象徴であるエイサーの踊りで、いろいろな演技の組み合わせや、四匹の獅子舞など、観衆はすばらしい演技に感動した。全町民に見せたいものである。

ちなみに宇謝名堂の敬老会では小学生のエイサー、獅子舞で会場は最高に盛り上がった。子どもも網羅した全町民の夏まつりにすることを提案したい。



平良町長 久米島まつりは久米島の夏の風物として、全町民がこぞって参加できる唯一のイベントである。出演者、または見物者の環境さえ整えば可能性はある。今後、地域や学校関係者と調整を図りながら検討していきたい。

町職員の人事異動は？

いろいろな部署を経験できるような人事を行う



内間 久栄 議員

内間議員 町長は久米島町第二代町長として就任され、六月定例会の平成一八年度施政方針の中で、「役場職員が変われば久米島が変わると考えている」と述べられた。そこで平成一九年度の当初において職員の人事異動をどう臨むか伺いたい。

平良町長 役場職員の人事異動については、「職員の意味が変われば」ということである。人事面では適材適所が理想であるが、長い期間同じ部署だけでなく、他の部署も経験できるような人事を行う。

内間議員 今後、久米島町の福祉向上、また、町発展のために人事行政にあたっていただきたい。

南部土地改良区、畑の かん水事業について

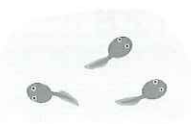
新しい事業の導入が必要

内間議員 山里地区、西銘新田地区の土地改良区の畑のかん水施設が十分に機能していない状況にあるが、今後、改善する考えはないか。

平良町長 山里地区、西銘新田地区の土地改良は、昭和五二年から五六年頃にかけて整備された。現在、西銘新田地区には水が送水されておき、かんがい施設は老朽化しているが、畑主が工夫しながら使用している。

内間議員 カンジンダムの水が豊富である。そこを利用したかん水施設がこの地区は可能であり、水の豊富などところから引き込んだ計画を町側が新たに計画し、地域の生産性を高めていきたい。

山里地区については畑かん施設が完全に腐食して使用できないため、畑かん施設そのものを畑主が撤去している状況である。この地区でかん水できるようにし



工事で堆積した水路の浚渫を！

県へ維持管理できるように要請中



真栄平 勝政 議員

真栄平議員 奥武島一号線工事による水路の一部堰き止めにより、土砂が水路に堆積している。そのため一部水路で干潮時に小型船でも出入りできない状態にある。その対策を考えているか伺いたい。

平良町長 水路の浚渫について現地を確認したところ、かなりの量の砂の移動が確認されている。浚渫には多大な予算がかかるため、町単費では無理がある。

現在、県が進めている計画に泊地区の水路浚渫が予定されているので、県へ水路の維持管理ができるよう要請しているところである。

町職員数の適正化を！

勧奨退職の促進や、職員数の調整を図りたい



仲原 健 議員

仲原議員 久米島町の職員数は類似町村の職員数に比べかなり多い。町財政に対する人件費の割合がかなり高く、財政を圧迫している。町職員の数の適正化対策について町長は、「勧奨退職を勧め、職員の適正化に努める」と述べているが、その具体策は。

また、地方公務員法では任命権者の裁量で職員の減も可能だとあるが、どうか。

平良町長 町職員数の定員

適正化を図るには、勧奨退職制度の促進が最も有効であり、勧奨退職を促進するため、早期退職に伴う退職金の加算制度があるが、現在の制度では不十分なため、早期退職優遇制度の創設について、宮古島市長と共同で沖縄県市町村総合事務組合に要請中である。

この制度ができるとかなりの効果が期待できると考えられる。

公務員法二八条の件は、町が財政破綻とか特別の事情の時に職員を辞めさせることも可能となっている。職員の人件費及び採用については他町村に並べるように調整を図っていきたい。

議会傍聴のご案内

次回の定例会は、3月9日～23日の予定です。傍聴ご希望の方は、議会事務局までご連絡ください。

議会へのご質問、ご意見、ご感想なども承っております。

久米島町議会事務局 (098) -985-7128

議 決 の 結 果

議案番号	件 名	議決年月日	議決の結果
議案第 58号	久米島町立学校設置条例の一部を改正する条例について	平成 18 年12月 18日	可 決
議案第 59号	平成 18 年度久米島町老人保健特別会計補正予算（第 2 号）について	平成 18 年12月 18日	可 決
議案第 60号	沖縄県後期高齢者医療広域連合の設置について	平成 18 年12月 18日	可 決
議案第 61号	平成 18 年度久米島町水道事業会計補正予算（第 1 号）について	平成 18 年12月 18日	可 決
議案第 62号	平成 18 年度久米島町下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）について	平成 18 年12月 18日	可 決
議案第 63号	平成 18 年度久米島町農業集落排水事業特別会計補正予算（第 1 号）について	平成 18 年12月 18日	可 決
議案第 64号	土地の取得について	平成 18 年 12月18日	可 決
議案第 65号	久米島町個人情報保護条例及び久米島町情報公開条例の一部を改正する条例について	平成 18 年12月 18日	可 決
議案第 66号	二級河川指定の変更について	平成 18 年12月 18日	可 決
議案第 67号	平成 18 年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）について	平成 18 年12月 18日	可 決
議案第 68号	平成 18 年度久米島町一般会計補正予算(第 4 号)について	平成 18 年12月 18日	可 決
議案第 69号	久米島町立学校給食センター条例の一部を改正する条例について	平成 18 年12月 18日	可 決
議案第 70号	沖縄県離島医療組合規約の一部変更について	平成 18 年 12月19日	可 決
議案第 71号	女性・若者等活動促進施設建築工事請負契約について	平成 18 年12月 19日	可 決
議案第 72号	久米島町付属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例について	平成 18 年 12月 19日	可 決
議案第 73号	美崎背後地埋立事業計画変更について	平成 18 年 12月 19日	可 決
諮問第 1 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	平成 18 年12月 19日	可 決
諮問第 2 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	平成 18 年 12月 19日	可 決
発議第 13号	後期高齢者医療制度創設にあたっての決議	平成 18 年12月 19 日	採 択

12月定例会

補正予算可決

12月定例会は12月15日～19日までの5日間の日程で行われ、議案16件 諮問2件 発議1件を審議しました。

平成18年度一般会計補正予算（第4号）

歳入

歳出の内訳	補正額
総務費	382,320千円
民生費	86,283千円
衛生費	4,061千円
農林水産費	△19,601千円
商工費	28,442千円
土木費	32,011千円
消防費	421千円
教育費	10,020千円
公債費	6,434千円
歳出合計	530,391千円

歳出

歳入の内訳	補正額
地方交付税	121,393千円
分担金及び負担金	2,076千円
使用料及び手数料	2,444千円
国庫支出金	16,126千円
県支出金	△18,624千円
財産収入	12,200千円
繰入金	355,000千円
諸収入	3,476千円
町債	36,300千円
歳入合計	530,391千円

後期高齢者医療制度創設にあたっての決議

本年6月、国会において成立した医療制度改革関連法により、現在の老人保険制度が廃止された。

代わって、新たな後期高齢者医療制度が、沖縄県すべての市町村が参加する「広域連合」を運営主体に2008年4月から施行される。

新たな後期高齢者医療制度は、「その心身の特性や生活実態等を踏まえる」という法成立の趣旨を踏まえ、後期高齢者の健康と生命を守りうるものでなければならない。

久米島町議会は、久米島町が後期高齢者医療広域連合に参加する一員として、制度創設にあたり、以下の諸点について留意し、検討をすすめることを求める。

一、保険料決定にあたっては、高齢者の所得・生活の状態を踏まえ、支払いが可能な金額とすること。

一、支払い困難な層に対しては、納付相談など、懇切丁寧な相談体制を構築すること。

一、滞納者に対する機械的な資格証明書の発行は行わないこと。

一、後期高齢者の診療報酬設定にあたっては、保健給付範囲内の限定や、在宅療養や終末期医療のむやみな包括定額化など、高齢者に対する年齢差別的な取り扱いが持ち込まれないよう、国に対して強く要請すること。

以上、決議する。

平成18年12月19日

沖縄県島尻郡久米島町議会

宛先

沖縄県後期高齢者医療広域連合設立準備委員会
会長 翁長雄志殿